

# 年表

	橋本汽船・堂島ビルディング	雲仙観光ホテル	大阪・雲仙ほか関連出来事
1916 大正5	橋本喜造、神戸に移転。橋本商店船舶部を新装開店。		
1917 大正6	橋本汽船ビルを建設。堂島ビルディングのテストケースとなり、堂島川畔、大江橋北詰付近の敷地買収を開始する。 荻藻島に橋本造船所を建設。		
1918 大正7	(橋本汽船)2月、橋本喜造、神戸に橋本汽船株式会社を設立。		8月、米騒動、大阪市に波及。 10月、中之島に大阪市中央公会堂竣工。 11月、第一次世界大戦休戦の影響で小造船所の閉鎖続出。
1919 大正8	鈴木商店などから堂島川畔、大江橋北詰の土地約1,347坪(約4,453㎡)を取得する。		4月、都市計画法、市街地建築物法公布。 第6代大阪市長池上四郎、御堂筋の計画を発表。
1920 大正9	4月8日、資本金500万円(払込金225万円)で、ビル建設母体となる株式会社堂島ビルディングを設立。橋本喜造が代表取締役役に就任。 4月20日、設立登記。大阪市東区北浜5丁目30番地(現・中央区北浜4丁目)の藤本ビルブローカー銀行内に事務所を置く。 5月、竹中藤右衛門が島本四郎らと米国視察。 6月、大阪府知事、池松時和宛てに「新築願」を提出。 6月22日、竹中藤右衛門と妻沼岩彦が「大阪ビルディング設計依頼に関する契約」を締結。 大阪市に約590坪(約1,950㎡)を御堂筋拡幅工事のため無償で譲渡する。 12月、竹中工務店の大阪出張所が敷地内に置かれる。		1月、6大都市に都市計画法施行、府内務部に都市計画課設置。 2月、池松時和、第16代大阪府知事に就任。 3月、大阪市庁舎定礎式。 11月、白木屋呉服店梅田出張所が阪急梅田駅に開設。 12月、市街地建築物法施行。
1921 大正10	2月、竹中工務店と工費230万円で建設工事契約を締結。 9月、建設工事着工。 12月、堂島ビルディングの設備設計担当となる瀬戸強三郎が竹中工務店に入社。		3月、大阪市の第一次都市計画事業が内閣から認可。
1922 大正11	11月3日、堂島ビルディングに商号変更。		
1923 大正12	5月、所在地が、大阪市北区船大工町1番地11となる。 6月1日、堂島ビルディング竣工。 7月15日、清交社開館式。 7月21日、堂島ビルディング開館式。 12月1日、竹中工務店本店が堂島ビルディングに移転。大阪出張所を廃止。		9月1日、関東大震災。 11月、關一、第7代大阪市長に就任。
1924 大正13	1月、中山文化研究所開所。		11月、大阪市の更正第一次都市計画事業が内閣から認可。
1925 大正14	3月、4階にプラトン社入居。 9月、プラトン社、馬淵町に移転。		4月、大阪市、第二次市域拡張を実施、人口212万人となり全国一、世界第6位の大都市となる。大大阪記念博覧会開催。
1926 大正15			10月、梅田阪急前から御堂筋拡幅工事着工。
1927 昭和2			3月、昭和金融恐慌始まる。4月に鈴木商店が倒産。 4月、大江橋北詰交差点以北の御堂筋拡幅工事が竣工。 大阪毎日新聞と東京日日新聞主催の「日本八景」に雲仙が当選。外国人客2万人をこえる。
1929 昭和4			3月、堂島川可動堰完成。 10月、世界恐慌の影響で、昭和農恐慌始まる。

	橋本汽船・堂島ビルディング	雲仙観光ホテル	大阪・雲仙ほか関連出来事
1930 昭和5	2月1日、堂ビル洋裁学院設立。 2月、ビルディング懇話会発足。 5月、ビルディング懇話会、初代会長に橋本喜造が就任。後に大阪ビルディング協会に改組。 6月、大阪市北区堂島浜通1丁目1番地に所在地名変更。		1月、梅田一心斎橋間の地下鉄工事着工。 8月、雲仙国際観光協会設立。
1931 昭和6	竹中工務店本店、大阪朝日ビルに移転。		4月、淀屋橋の地下鉄工事で大出水事故。 10月、大阪朝日ビル竣工。 11月、大阪城天守閣竣工。
1932 昭和7	7月18日、堂ビル美容学院設立。	国際観光局、外国人観光客誘致のため、日本各地に外国人向けホテルの建設を計画する。雲仙にも洋式ホテルの建設が決定。長崎県選出代議士、橋本喜造が、運営要請を受ける。	10月、天皇陛下、第34回陸軍特別大演習総裁として大阪府下を幸す。
1933 昭和8	2月13日、大阪堂ビル家庭専修学院設立。(橋本汽船)ディーゼル機関船、新興丸を新造。その他の船と併せて、川崎汽船(株)に貸船。新興商船(株)を設立。		5月、地下鉄梅田一心斎橋間が開通。
1934 昭和9	3月31日、堂ビル割烹学院設立。 5月、大阪堂ビル家庭専修学院を堂ビル女学院に改称。	10月、株式会社雲仙観光ホテル設立。	3月、雲仙が日本初の国立公園に指定される。地名を「温泉」(うんぜん)→「雲仙」と改める。
1935 昭和10		10月10日10時、雲仙観光ホテル開業。	1月、關一大阪市長死去。
1937 昭和12	4月、堂ビル洋裁学院が大阪府豊能郡庄内村大字洲到止(神崎川畔)に移転。		7月、日中戦争勃発。 5月、南海難波駅前まで御堂筋全面開通。
1938 昭和13		2月、ハンガリー文化使節、イストラン・メゼイ博士宿泊。 久邇宮妃殿下、佐世保海軍、大村陸軍病院御慰問のためご訪問。	4月、地下鉄難波一天王寺間開通。
1939 昭和14	6月、堂ビルホテルを閉鎖。		
1940 昭和15	2月、日本ビルディング協会連合会発足。橋本喜造、連合副会長に就任。		7月、小林一三、第二次近衛内閣で商工大臣となる。8か月後に辞任。
1941 昭和16		日本ホテル協会、社団法人の認可を得る。橋本喜造、理事に就任。	12月、太平洋戦争勃発。
1942 昭和17	3月、堂ビル女学院、最後の卒業式をする(開校年は不明)。 4月、堂ビル割烹学院、日本割烹学院と改称して北区浮田町に新築・移転。 10月、堂ビル女学院、堂島女子服装学校に改称申請する。		5月、企業整備令公布。
1944 昭和19	4月1日、行政区画変更により、大阪市北区網笠町50番地に所在地名変更。	7月、株式会社堂島ビルディングが株式会社雲仙観光ホテルを吸収合併。	
1945 昭和20	3月14日、大阪大空襲で被災。屋上にある建屋が焼失。 10月、進駐軍より接収指令を受けたが、清交社代表理事、高石真五郎が交渉し、接収を免れる。	進駐軍に接収され、一般営業を中止。	3月13日深夜～14日未明、第1回大阪大空襲。 8月15日、終戦。
1946 昭和21	4月、大阪ビルディング協会の例会が堂島ビルディングで再開。		
1947 昭和22	2月20日、橋本喜造死去。橋本喜久雄2代目社長に就任。		
1948 昭和23	戦時中供出された客用エレベーター2基を新設。戦後初めての設備改修。		
1949 昭和24	1月25日、橋本喜久雄死去。橋本昭一3代目社長に就任。		2月、GHQ 経済顧問ジョセフ・ドッジ、ドッジ・ライン実施を要求。
1950 昭和25		接収が解除され、橋本昭一がホテルの復興に着手、営業を再開する。国際観光ホテル整備法による政府登録ホテルとなる(登録ホ第29号)。	第6回日本ユネスコ運動全国大会(長崎) 9月、ジェーン台風襲来。

	橋本汽船・堂島ビルディング	雲仙観光ホテル	大阪・雲仙ほか関連出来事
1951 昭和26	9月、客用エレベーター2基新設。 (橋本汽船) 絹笠丸を購入するが座礁。		9月、サンフランシスコ講和条約、日米安保条約調印。翌年4月発効。
1952 昭和27	(橋本汽船) 龍神丸を購入し、太洋海運(株)の久丸と交換、けいゆう丸に改名して、川崎汽船(株)に貸船。		3月、文化財保護法により「温泉岳」が富士山とともに「特別名勝」に指定される。
1953 昭和28	3月、戦時中供出されていた暖房設備(スチーム暖房方式)の復旧。		
1954 昭和29	12月、翌年5月の2回に分けて、客用エレベーター合計6基を4基に変更する改修工事を実施。1基の収容人数を増加し、北面2基、南面2基という現在の形になった。	映画『君の名は(第3部)』において、ホテルが撮影場所となる。4月27日公開。	
1956 昭和31	2月～8月、各階便所改修工事を実施。 12月、屋上防水工事を実施。屋上全面を防水補修(アスファルト防水法)。		3月、天草諸島と併せて「雲仙天草国立公園」となる。
1957 昭和32			7月、雲仙ロープウェイ開業。
1959 昭和34	6月、昭和の改修工事着工(外装)。設計施工は野村建設工業(株)。 8月、第1次冷房設備新設工事を実施。スチーム暖房方式を変更し、空調方式による冷暖房設備を新設。		
1960 昭和35	8月、第2次冷房設備新設工事を実施。 9月、昭和の改修工事竣工(外装)。		1月、新安保条約署名。
1961 昭和36	1月、各階廊下の改修工事を実施。	4月、昭和天皇皇后両陛下ご来仙、ご宿泊。	9月、第二室戸台風襲来。
1963 昭和38	7月、防潮堤新設工事を実施。各出入口に防潮壁を新設。 (橋本汽船) 幾春丸を新造。	金欄ハイヤー開業。	
1964 昭和39		10月、ホテルの料亭、天麩羅「魚苑」を新設。	10月、東京オリンピック開催。
1969 昭和44	2月、客用エレベーターの自動化工事を実施。	12月、別館新築工事の実施(和室及び宴会場新設)。	
1970 昭和45	9月、電気配電設備の改修工事を実施。		3月、日本万国博覧会(大阪万博)開催。
1971 昭和46	2月、大阪ビルディング協会、社団法人の認可を得る。 6月、冷暖房設備の改修工事を実施。		8月、第13回国立公園大会 雲仙天草国立公園で開催。
1974 昭和49	6月、冷暖房設備の改修工事を実施。		
1977 昭和52	12月、客用エレベーター4基を新設。直流ギヤレス、速度毎分120m型式に新設。		
1978 昭和53	2月、大阪市北区西天満2丁目6番8号に所在地名変更。 9月、消防法改正のため、防災設備工事を実施。		
1979 昭和54	(橋本汽船) 橋本昭一、取締役会長に就任。 (橋本汽船) 近海航路、汐春丸を船舶整備公団、神戸棧橋(株)と3社共有。		
1980 昭和55		12月、別館和室改装工事の実施。和室4室を民芸和風に改装。	
1984 昭和59		雲仙ゴルフ場野外で「セレクト・ライブ・アンダー・ザ・スカイ」が開催。出演者の内ハービー・ハンコック、ギル・エヴァンスらが宿泊。	
1987 昭和62	屋上防水工事の実施。		
1988 昭和63	(橋本汽船) 所有船をパナマ船籍とするが、採算悪化が続く。		
1990 平成2			11月、雲仙普賢岳、約200年ぶりに噴火活動再開。
1991 平成3	(橋本汽船) パナマ船籍を売却、海運会社としての運営を休止。		5月、雲仙普賢岳、火砕流が発生。6月3日に大火砕流が発生。

	橋本汽船・堂島ビルテング	雲仙観光ホテル	大阪・雲仙ほか関連出来事
1995 平成7	1月、阪神・淡路大震災により堂島ビルテングの窓ガラスが多数落下し、西宮社宅倒壊する。 10月、堂島ビルテング及び西宮社有地の全面復旧工事完了。	5月、第49回全国野鳥保護のつどい開催、常陸宮殿下、同妃殿下がご宿泊。	1月17日、阪神・淡路大震災。
1996 平成8	6月、平成の改修工事実施設計開始。設計施工は野村建設工業(株)。		6月、雲仙普賢岳、「噴火活動の終息宣言」が出される。溶岩ドームは平成新山と名付けられる。
1997 平成9	4月、平成の改修工事着工。	3月、天麩羅「魚苑」閉鎖。	
1999 平成11	9月、清交社、全日空ホテル(現・ANAクラウンプラザホテル大阪)に移転。 12月、平成の改修工事竣工。		
2000 平成12	12月、平成の改修工事完成記念式典。		
2001 平成13	3月1日、橋本昭一死去。橋本啓子4代目社長に就任。		
2002 平成14		本館屋根、外壁工事開始。	
2003 平成15		1月、国の登録有形文化財に登録される。	
2004 平成16		本館屋根、外壁工事完了。第1期改修工事の実施。	
2005 平成17		第2期改修工事の実施。	
2006 平成18		第3期改修工事の実施。	
2007 平成19		第4期改修工事の実施。 3月、長崎まちづくり景観資産に登録される。 11月、経済産業省「近代化産業遺産」に認定される。	
2008 平成20		第5期改修工事の実施。	
2009 平成21			8月、島原半島が日本初の「世界ジオパーク」に認定される。
2011 平成23			3月11日、東日本大震災。
2018 平成30	10月、「生きた建築ミュージアム フェスティバル2018」に参加。		
2019 令和元	9月、『島民』に「堂島ビルテング物語」特集が掲載。 10月、「生きた建築ミュージアム フェスティバル2019」に参加。3階事務所を公開。		
2020 令和2	4月、創立100周年を迎える。	第6期改修工事の実施。	

(2020年1月現在)